

東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー

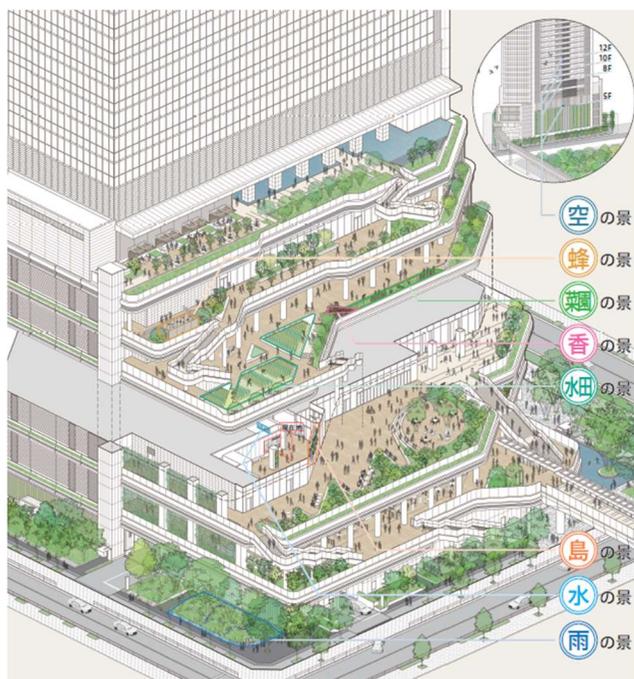
東京都港区海岸一丁目 7-1

登録者：東急不動産株式会社

◆ 完成年月 令和2年9月 ◆ 敷地面積 12,157 m² ◆ 緑地面積 4,006 m² (うち樹木面積 3,869 m²)

◆ URL : <https://tokyo-portcity-takeshiba.jp/>

東京ポートシティ竹芝オフィスタワーは、東京都産業貿易センター跡地の再開発によって生まれた、40階建ての大型複合施設です。敷地には、東京湾、浜離宮恩賜庭園、旧芝離宮恩賜庭園が隣接しています。水と緑に囲まれた周囲の自然空間と一体となって緑の連続性を拡充するため、低層部（2階から6階）に設けたスキップテラスに生物多様性に配慮した緑を創出しました。



「雨・水・島・水田・香・菜園・蜂・空」をテーマにした「竹芝新八景」

スキップテラスには、地域の生物多様性向上への貢献を目指し、「雨・水・島・水田・香・菜園・蜂・空」の8つをテーマにした「竹芝新八景」を展開しました。雨水を地面に浸透させるレインガーデンや日本の稲作文化を体験できる水田、花粉を運ぶなど生態系の中で重要な役割を担うミツバチの巣箱の設置など、都市における生物多様性保全のあり方を発信する取組が散りばめられています。

竹芝新八景を活用した環境教育や自然体験活動の拠点として、3階には竹芝 UBC (Urban Biodiversity Center) を設けました。働く人や訪れる人に対して、生物多様性への認知と理解の向上も図っていきます。



新島の抗火石を用いたレインガーデン



都心の真ん中の水田



周囲の緑の連続性を拡充するスキップテラス

江戸のみどり登録緑地

<優良緑地>

(2020年10月登録)



EDO-MIDORI

在来種植栽情報

○面積割合

高木	40 %
中木及び低木	22 %

○在来種の種数

高木	14 種
中木及び低木	11 種

○おもな樹種

アラカシ、タブノキ、シラカシ、ケヤキ、ムラサキシキブ、イロハモミジ、ガクアジサイ ほか